

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(放課後等デイサービス/児童発達支援事業 多機能型)		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々のプログラムを通して子ども達一人一人に寄り添う支援に取り組んでおり、子ども達の発達を丁寧に促しています。	絵や写真カード、文字表示など一人ひとりの児童が分かりやすい方法で伝達できるように工夫しています。	今後も一人ひとりの児童の発達に合わせて、コミュニケーションを図り、安心して過ごせる場を提供していきます。
2	子どもや保護者、地域からの信頼を獲得しています。	細やかなプログラム作成や連絡帳でのやり取りなど日々丁寧な対応によって、子どもや保護者から信頼されています。また市内の放課後等デイサービス事業所連絡会の主催や親と支援者が一緒に学ぶ学習会の開催、地域の行事への参加などを通して、地域との交流を積極的に図っています。	今後は事業所内での保護者会を定期的開催していきます。
3	療育の専門家の助言やサポートを受けながら支援に取り組んでいます。	心理士による療育支援と保護者支援やPT・STによるコンサルティングを定期的に活用することで、子ども達のより豊かな成長を促しています。	今後も専門家と協力しながら、支援を継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会がこれまであまりありませんでした。	事業所内での活動を最優先にしているため、放課後児童クラブや児童館など他の機関で行われる子どもを対象としたイベントや活動への参加の機会に注目していませんでした。	地域で行われている子ども対象の活動やイベントの情報を積極的に収集していきます。
2	事業所では火災による避難訓練は定期的に行っているが、その他の災害(地震や洪水など)非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が未実施となっています。また、利用児童や保護者、職員などへの情報の周知徹底がなされていません。	現在、以前の災害避難マニュアル等を含めた業務改善計画(BCP)の改訂を行っており、策定途中のため、訓練の実施や周知が徹底されいません。	業務改善計画(BCP)が策定途中のため、完成後に様々な災害(特に地震や洪水など)を想定した訓練を実施していきます。
3			